



発行所 日本工業経済新聞社 水戸支局 茨城県水戸市笠原町978-25 茨城県開発公社ビル1階 電話 029(301)1055 FAX 029(301)1066

本社 東京都文京区千駄木3-36-11 URL: www.nikoukei.co.jp

QR codes for electronic version, Twitter, and home page. Text: 電子版 Twitter ネット上で最新情報発信中

購読のお申し込みは 0120-310-987 http://www.nikoukei.co.jp/mito/

株式会社 日立生コン 本部 水戸市河和田町4008-1 TEL 029(309)4322(代表)

日立工場 029(306)3322(代表) 水戸工場

県水戸土木 護岸工9月公告へ 沢渡川整備1億充てる

気象庁は関東甲信地方の梅雨入りを発表。降雨による河川の増水や水位上昇が懸念される中、県水戸土木事務所においても着実に河川整備を推し進める。酒沼川では、中流I区で河道掘削のほか、左岸側の整備用地取得に向けた測量に着手。酒沼大橋近くの下流II区では、堤防強化を進めていく。全体では1万9800mの整備が完了している。川幅が狭く水位が上昇しやすい沢渡川では、浸水被害解消のためバイパス水路を整備。逆川についても護岸工を施し、環境改善を図っていく。



掘削工や盛土工などを実施する逆川(水戸市)

【一級河川酒沼川(笠間市毛)】 JR常磐線水戸線のII区II等間市下市毛(笠間) 延長9300mのうち、JR水戸線野郎橋の延長2400mで、未改修区間1100mの早期完成に向けて整備を進める。22年度は等間郵便局(笠間市笠間1593-11)近くの右岸と南側の左岸にて、河道掘削や護岸工をそれぞれ延長200mずつ施工する。遅くても9月ごろには工事を発注し、約6カ月の工期で完成させる。

【二級河川酒沼川(下流II区)JR常磐線酒沼大橋】 新橋酒沼大橋(L1300m)で堤防強化を進めていく。本年度は上石崎地先のII区(L1000m)で路体・築堤盛土工、法面整形工、かまど工などの工事を進めていく。本年度は上石崎地先のII区(L1000m)で路体・築堤盛土工、法面整形工、かまど工などの工事を進めていく。本年度は上石崎地先のII区(L1000m)で路体・築堤盛土工、法面整形工、かまど工などの工事を進めていく。

23年度調整池着工 鹿嶋市

雨水排水整備を進める鹿嶋市は、荒野台地区において雨水管や調整池の整備を計画している。2022年度は延長186.5mで管路敷設工事を確保した。また、調整池については23年度に着工する計画。

SRP(ソーラーパネルリサイクルプラットフォーム)茨城・栃木で来春運用 関東道路

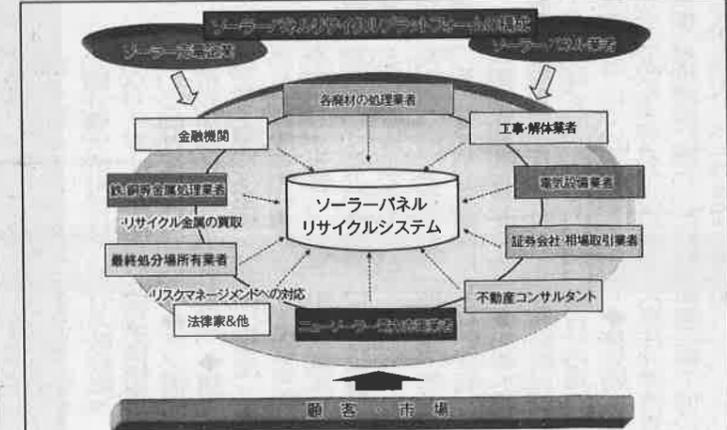


武藤代表取締役

SRP事業は、自社で発明・特許取得の「情報処理装置、情報処理方法およびプログラム」を活用したもので、ソーラーパネルの廃棄は将来、設備寿命によって現在の80倍以上(80万7千/年、ピーク時140万7千/年)に増える懸念がある。関東道路は、環境省の「環境省」で、将来的に大きな社会問題になると認識。5年ほど前から問題解消に向けた構想を描き、必要なプログラムの特許を2021年7月に登録するなどSRP運用の準備を進めてきた。

解体・廃棄依頼を一元管理

持続可能な循環型社会の形成を目指す。関東道路(株)の武藤正浩代表取締役は20日、ソーラーパネル排出業者からの解体・廃棄依頼を一元管理する「ソーラーパネルリサイクルプラットフォーム(SRP)事業」を発表し、今後の展望を語った。従来のソーラーパネル廃棄問題を解消するにも、環境DX(デジタルトランスフォーメーション)の構築を見据える。プラットフォームは、来年2月に完成予定。来春から茨城県と栃木県で稼働を計画している。



ソーラーパネルリサイクルプラットフォームの構成図

場所から最短距離の各企業にリサイクル処理の依頼が可能となる。SRPによって環境DXへの期待も高まる。情報処理システムの全国展開を図るほか、再生可能エネルギー普及事業、ソーラー廃棄物問題解決の依頼が可能となる。決・災害防止ソーラー事業終了に伴う土地の有効利用、ソーラー電力の集積事業、第2次充電事業、蓄電事業など新たな事業を展開できるようになる。環境情報のネットワーク化とビッグデータ化を図ることで、持続可能な循環型社会の形成を目指す。

設計。候補。土浦市の津地区統合小業(5月30日区長4人から地再選定や立などを求め提出された。け、当初7月本・実施設計となる。市は

幹部インタビュー

